

沖縄島ぞうりを彫ろう

千葉県立天羽高等学校 向川 和明

□美術2（2単位）3講座 13名 14時間

□この授業で付けたい力

沖縄のビーチサンダルである「島ぞうり」に彫刻を施すことで彫刻に対する興味関心、デザインの発想や構想の能力を育てる。さらに沖縄の生活や文化にも興味を持ち、沖縄修学旅行の事前学習へとつなげてゆきたい。

□材料 ・島ぞうり（島ぞうり専門店カフーショップで1足580円。あらかじめサイズと色の希望をとり沖縄に発注した。）

・トレーシングペーパー・デザインカッター・先曲がりハサミ

□展開

	内容	時間
導入	・沖縄の暮らしと島ぞうりについて説明。 ・優秀作品の鑑賞。 ・「島ぞうりの彫り方」DVD鑑賞	1H
展開	・アイデアスケッチ。考える上でのパターン提示 ・完成したアイデアスケッチをマーカーでなぞる。 ・トレーシングペーパー → ぞうりに写す。 ・彫り方のパターンを実際にやってみる。 ・彫刻	4H 8H
鑑賞	・互いに鑑賞し合う。	1H

□観点別評価

評価の観点	美術への関心・意欲・態度(関)	発想や構想の能力(思)	創造的な技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。

初めて取り組んでみたが、彫りやすく、成果が出やすい。どんな学校でもそれぞれに応じた作品ができあがるだろう。問題点は一つ。理由は分からないが、カッターの切れ味がすぐに落ちてしまうのである。今回は研ぎながら行ったが、替え刃をたくさん用意できればもっと良かっただろう。